

太陽光発電の事例（兵庫県多可郡多可町）^{たかぐん たかちょう}

【目的】

未利用自然エネルギーを活用した太陽光発電によって生み出された電力を、振替供給により地区内の管理事務所及び農業用ポンプ施設へ充当することにより、土地改良区の電力料金低減に寄与し、組合員の維持管理費の負担軽減を図る。



糞屋ダム堤体下の広場を利用した太陽光発電施設

【事業概要】

実施地域：兵庫県多可郡多可町

実施主体：加古川西部土地改良区

運転開始年度：平成27年度～

太陽光発電施設：

- －最大出力：261kw

- －供給先：地区内全使用電力年間296,000kwhを
振替供給

- －設置箇所：糞屋ダム堤体下の広場^{こうじや}



【再生可能エネルギー普及啓発活動を含む農業水利施設見学会を実施】

平成27年度より地域の小学生4年生を対象に、土地改良区が設置した太陽光発電施設において、再生可能エネルギーの普及啓発を目的とした見学会を実施し、併せて農業水利施設の重要性についても学習する場を提供しています。



太陽光発電施設



揚水機場



ダム管理所内操作室